

VIAVI

VIAVI Solutions

パンフレット

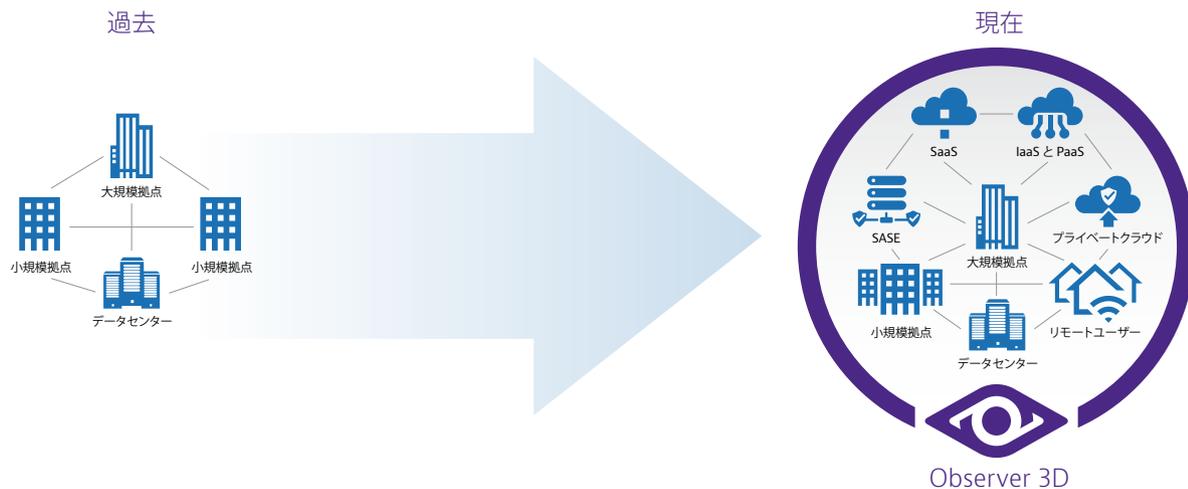
VIAVI Observer Apex

コアからクラウドまでカバーする
エンドユーザー体験のスコアリング

ネットワークはいたるところに

オンプレミスまたは SaaS、IaaS、PaaS、SASE などのクラウドベースのリソースでホストされる複雑な多層アプリケーション。ニューノーマル時代では、ユーザーがどこからでもアプリにアクセスすることは、ごく一般的となっています。今日のネットワークには国境はありませんが、各 IT サービスは依然として国境に依存しています。

ネットワークまたはサービスアーキテクチャのコンポーネントが不安定になると、アプリケーション配信の品質が急速に低下し、顧客満足度および事業収益性の低下を引き起こす可能性があります。これを回避するには、包括的なサービスの可観測性が必須となります。



この解決策となるのが Observer Apex です。Apex は、すべてのトランザクションでエンドユーザー体験 (EUE) スコアを生成する初のパフォーマンス監視ソリューションです。Apex は、パケット、メタデータ、Enriched flow、アクティブな監視など、複数のデータソースを介して適応性と可視性を提供します。組織は、自社の予算、運用要件、および事業ニーズに合ったものを選択できます。

Apex は、グローバル規模の IT サービスの正常性とステータスを認識できるようにします。サービスの異常や潜在的なセキュリティ侵害が検知されると、効率的なワークフローにより、NetOps、DevOps、および SecOps グループが根本原因を突き止めて迅速な復旧を手助けします。

Apex と Observer プラットフォームの能力

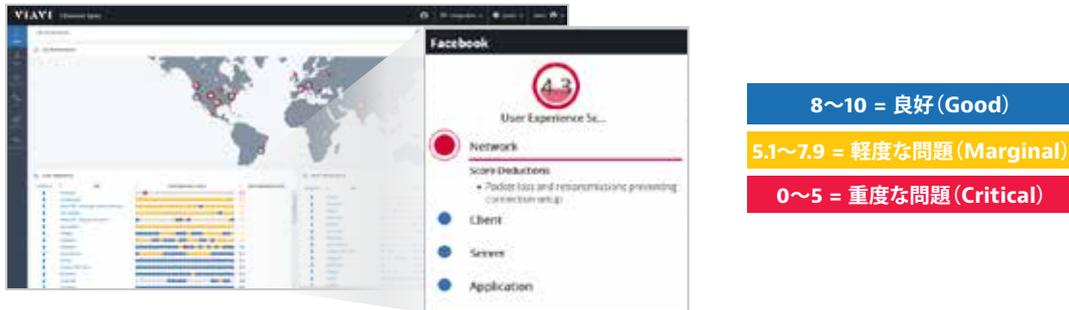
- 機械学習を利用した自動化された EUE スコアリングにより、複数の KPI を単一のわかりやすい指標に変換します
- GigaStor、GigaFlow、および GigaTest による柔軟なデータソースオプション：パケット、メタデータ、Enriched flow、Active Test は、ネットワークエンジニアから事業部門責任者まで、すべてのステークホルダーに適切なビューを提供します
- 効率的なワークフローを備えたグローバルな運用インテリジェンス用のカスタマイズ可能なダッシュボードにより、NetOps、SecOps、および DevOps が問題を迅速に特定し解決できるようにします
- 効果的な Synthetic (アクティブ) テストを備えたクラウドおよびオンプレミスのホステッドサービスのための統合ハイブリッド IT 可観測性は、リモートユーザーと SaaS パフォーマンスの正常性のプロアクティブなサービス保証を提供します
- オンデマンドのアプリケーション依存関係マッピングにより、設定を必要とせずに多層アプリケーションを即座に可視化します
- パフォーマンス管理とフォレンジックを統合し、サービスの異常とサイバーセキュリティ侵害への迅速な対応を実現します
- データセンター向けの専用アプライアンスから、シンプルで効率的なクラウド展開のための Amazon マシンイメージ (AMI) までカバーする柔軟な展開オプション

パフォーマンス管理

エンドユーザー体験スコアリング

Apex は、機械学習を利用した特許取得済みの分析を使用して、ユーザー満足度の評価から憶測を取り除き、全てのカンバセーションを正確に測定します。それぞれが 0 から 10 の間でスコア付けされ、色分けとグレーディングを使用してユーザーの観点からパフォーマンスを表示し、独自の環境とアプリケーションの動作を考慮して誤検知を排除します。

スコアは、特定のユーザーの体験を可視化する、または必要に応じて拠点、地理的位置、またはその他の構成要素によって定義されたユーザーグループ単位で表示するように拡張できます。Apex は、問題をネットワーク、クライアント、サーバー、またはアプリケーションドメインに切り分けることで、問題発生箇所の特定をわかりやすくします。



カスタム対応ビジネスレベルのダッシュボード

位置情報ベースのユーザー定義ダッシュボードにより、サービス提供の正常性に対する統合された全社的な状況認識を可能にします。

トラブルシューティングワークフロー

エンドユーザー体験スコアリングと統合されたサイトおよびサービス主導のワークフローにより、IT チームはすべてのリソースについてのグローバル規模の状況を即座に把握し、個々のユーザー単位にすばやく深掘することで問題を迅速に解決できます。

オンデマンドの多層アプリケーションインテリジェンス

オンデマンドのアプリケーション依存関係マッピングは、多層サービスの認識、アプリケーションの相互依存関係の迅速な検出、およびこれらの複雑な関係を明確に可視化するマップのアドホックなレンダリングを提供します。Apex は、マウスのワンクリックでマップ全体を生成し、最も品質の悪い接続を自動的に特定して強調表示するため、ユーザーはトラブルシューティングの優先順位をすばやく判断することができます。

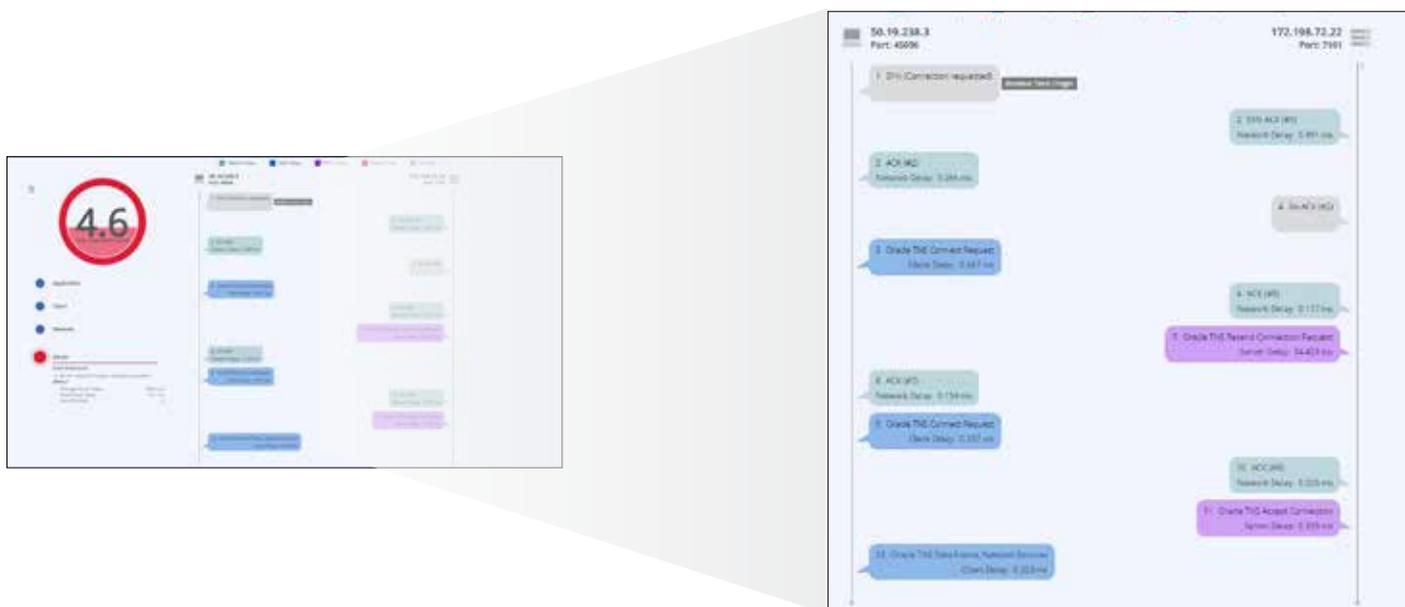


ネットワークフォレンジック

Observer のネットワークフォレンジックは、データを長期間保持する機能を備え、パケットとEnriched flowの 両方の補完的なデータソースを統合します。仮想版 GigaStor および GigaFlow オプションにより、クラウドでホストされたアプリの、強化されたフローとパケットを認識できるようになります。多くのパフォーマンスの問題やほとんどのサイバーセキュリティ侵害の根本原因の探索は、メタデータと直感的なダッシュボード分析から始まります。多くの場合、原因となるデータへの可視性に導く論理的ワークフロー構築で終わることになり、これには数日かかることがあります。Observer が長期間、詳細保持をサポートし続けるのはこのためです。

このように、パフォーマンス異常の多くは、エンドユーザー体験スコアリングによって、すぐに特定されます。ただし、より信頼性の高い詳細が必要な場合は、サポートデータをすぐに利用できます。

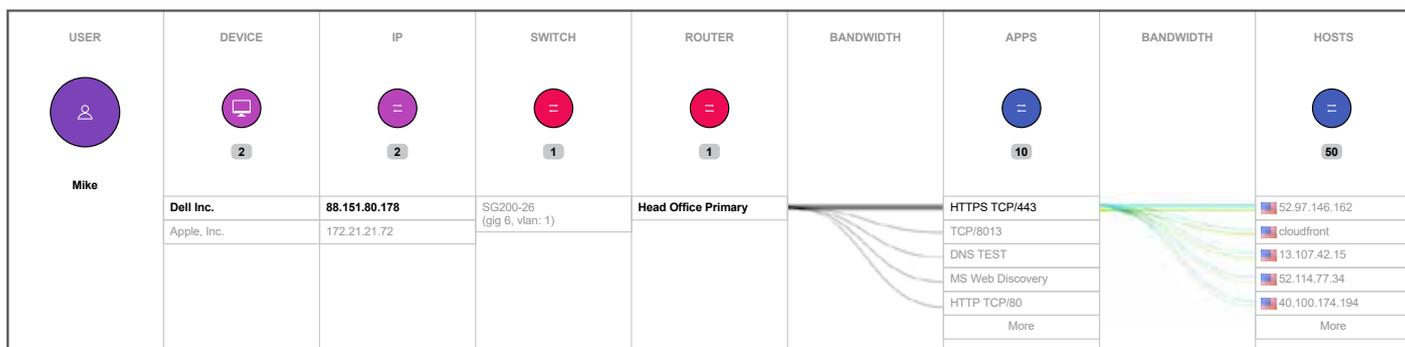
カンバセーションフォレンジック



エンドユーザー体験スコアと、関連する接続の動的なカンバセーションの表示

Observer GigaStor によってキャプチャされたパケットデータにより、全てのトランザクション(開始から終了まで)は、レビューおよび調査活動に使用できます。グローバルダッシュボードから個々のパケットについて、必要なときにいつでもわずか数ステップで確認できます。

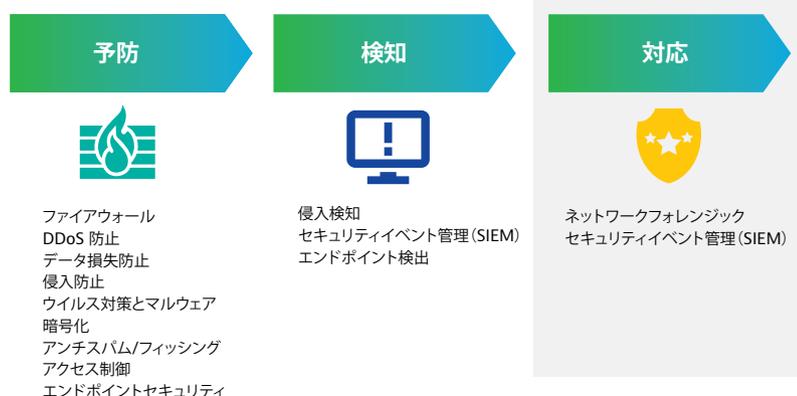
Enrich Flowのフォレンジック



Observer GigaFlow IP ビューアーによる、カンバセーションごとのネットワークインフラ全体にわたるユーザーアクティビティの可視化

Observer は、レイヤー 2~3 の洞察を単一の強化されたフローレコードに集約することにより、ユーザー、IP アドレス、MAC アドレス、およびネットワーク全体のアプリケーションの使用状況の関係性を独自のインタラクティブな可視化で表示します。ユーザーは、名前/ユーザー ID または IP アドレスを入力するだけで、それに関連したすべてのデバイス、インターフェイス、およびアプリケーションをすぐに特定することができます。何が接続されていて、誰がネットワークを介して通信しているかを特定することが、これまでになく容易になりました。

サイバーセキュリティに関して言えば、脅威に対する最善の保護には、予防、検知、対応の 3 種の側面からなる戦略が必要です。



1044.900.1221

多くの組織では、侵害が確認され、緊急作戦シナリオにより脅威への対応を開始するまで、多くの場合、予防と検知に重点が置かれます。この時点では、すべてのネットワーク活動を遡って容易にアクセスできるようにすることで被害を限定し、確信をもって「危険なし」と宣言するために重要です。

ネットワークフォレンジックの価値がここで最大限に発揮されます。Observer は、トラフィックと Enriched flow のフォレンジックを組み合わせたパワーを提供し、すべてのサイバーセキュリティ侵害の、「どのようにして/誰が/何を/どこで」に答えることにより、ビジネスを再開できるようにします。



デバイスはどのように接続されているか、または接続されていたか?



誰が通信しているか、または通信していたか?



何が送信されているか、または送信されたか?



疑わしい行動はどこまで広がったか?

これらの質問に答えることで、IT チームは「攻撃ベクトル」(攻撃者がどのように防御および検出手段を回避して侵入したか)と、どの IT サービス、デバイス、または機密の顧客/ビジネスのデータが不正アクセスされたかを迅速に判定できます。これが完了すると、封じ込めが可能になり、損害評価がまとまります。

Active Test

Apex で利用可能な Observer GigaTest は、Active Test の観点をパケットとメタデータの知見に追加し、クラウドでホストされているアプリとユーザーを、それらがどこにあっても明確にします。Apex を Enriched flow 組み合わせると、ハイブリッド IT のサービスの可視性を維持するという課題が解決します。

GigaTest の仕組み

Active Testは死角をなくし、パケットとフローデータを補完するもので、最近発表された Observer 3D イニシアチブに基づいています。3種のエージェントから選択して、パケットキャプチャおよびフロー分析と連携することで完全な可視性を提供します。可視性のギャップが存在する場所に応じてエージェントをうまく組み合わせます。

- Windows エージェント – Windows ベースのサーバーまたはユーザー デバイス用
- 仮想エージェント – 多くの一般的な VM 環境で利用可能
- Raspberry Pi イメージ – Raspberry Pi ハードウェアで使用

エージェントが展開されると、GigaTest 機能が Apex インスタンスに追加され、エージェントによって作成された Synthetic テストデータを処理します —これだけで、稼働状態となります。

GigaTest が必要な理由

統合 Active Test には、以下のような複数のユースケースがあります。

- クラウドベースの SaaS アプリケーションへの可視性の提供
- プロアクティブな 24 時間365日年中無休のサービス保証
- リモートユーザーのエクスペリエンスの検証

Active Test のデータをパケットおよびフローと統合することで、包括的な End-to-End の可視性を提供します。IT チームは、以下のような質問に確信を持って回答することができます。

- どのドメインが影響を受けているか。問題はネットワーク、アプリケーション、サーバー、またはクライアントですか？
- 単一ユーザー、単一の拠点、または複数の拠点に影響する問題ですか？
- ユーザーによって SaaS アプリケーションへのアクセスに影響する問題ですか？ オンプレミスかリモートユーザーかを問わず、それは SaaS プロバイダーの問題ですか、それとも当社側の問題ですか？

継続的な監視により、IT チームは能動的に可視性を維持し、現在の SaaS および UC の正常性のベースラインを構築できます —サービス レベルで問題が起こり始めるとすぐに検知できます。

自動化された分析とスコアリング機能を備えた統合モニタリングを使用して、ユーザーからの苦情に対して能動的に対応します。運用効率を最適化し、エンドユーザーの生産性を維持し、ビジネスとお客様への影響を最小限に抑えます。

アクティブ+パッシブ = 最適な組み合わせ

	パッシブ:パケット/フロー	Active Test	アクティブ+パッシブ
24/365 年中無休の監視	X	✓	✓
可用性	X	✓	✓
実ユーザーの可視性	✓	X	✓
SaaS アプリ保証	✓	✓	✓
在宅勤務	✓	✓	✓
フォレンジック分析	✓	X	✓
利用率利用状況	✓	X	✓
サイト間品質 (例:UC)	✓	✓	✓

Observer 3D の概要

Observer 3D は、ネットワーク、運用、およびセキュリティチームに貴重な知見と支援を提供する包括的なパフォーマンス管理ソリューションです。Apex は、EUE スコアの計算のために複数のデータソースからトランザクションメタデータを収集します。

統合されたダッシュボードおよびレポート作成用リソースとして、Observer Apex は、中央のグローバルな可視化ポイント、およびパケット、強化および機能追加されたフロー、および Active Test を使用して根本原因を特定するのに役立つ、事前に設計されたワークフローを使用して迅速なトラブルシューティングの起点として機能します。

Observer 3D は、次の 主に3 種の方法で IT チームを支援します。

- サービスの場所** - Observer 3D は、プライベートクラウド、SaaS アプリケーション、リモートユーザー、支店やデータセンターのオンプレミスなど、あらゆるホスティング環境に可観測性を提供します。場所を選ばず、VIAVI が対応します。Observer 3D が予測分析を活用して、パフォーマンスの問題をプロアクティブに可視化する方法の詳細については、[インタラクティブなプラットフォームのデモ](#)をご覧ください。
- データソース** - Observer 3D を使用すると、ワイヤーデータ、強化され機能追加されたフローの可視性、Active Test からの知見、およびメタデータ生成の組み合わせから選択して、パフォーマンスと脅威の問題をスムーズかつタイム

リーに解決できます。自動化された役割ベースのワークフローにより、データやソースの種類に関係なく、フォレンジックレベルの分析用にネットワークデータを容易に深掘りすることができます。

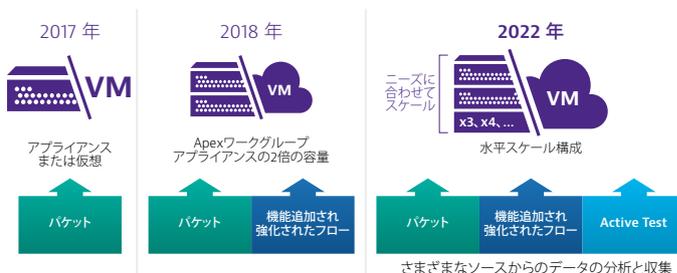


1041.900.1221

- 導入規模** - スモールスタートから開始し、ビジネスと監視のニーズと運用上の要求の変化に合わせて拡張できます。拡張性のある展開方法であろうと、新しい段階的価格設定とサブスクリプションモデルによる柔軟な価格設定の柔軟性であろうと、VIAVI はあらゆるケースに対応します。OpEx または CapEx 予算を使用して必要なときに必要なものを購入することで、妥協することなく可観測性と予算上の要件とのバランスを取ることができます。



1043.900.1221



1042.0422



〒163-1107
東京都新宿区西新宿6-22-1
新宿スクエアタワー7F

電話: 03-5339-6886
FAX: 03-5339-6889
Email: contact.japan@viavisolutions.com

© 2022 VIAMI Solutions Inc.
この文書に記載されている製品仕様および内容は
予告なく変更されることがあります
apex-br-ec-ja
30193606 911 0622